

新著紹介

○秋田縣の鑛物界

大橋良一著 菊版五四頁 圖版秋田縣全圖附 昭和三年二月 東京西大久保古今書院發行 定價五十五錢

古今書院地理學パンフレットの第一として大橋教授の成人教育講座に於ける秋田縣の鑛物及地理界に關する講話を纏めたものが本書である。秋田縣の地學に關して判り易く説く爲めに第一に一般の地學に就いて要項を話され、次に著者の自説を到處に高唱されたものである。章を分つ十、地理から説いて各種の地質現象を挙げ遂に天然記念物の解釋に終つて居る。秋田縣の地學に關しては曩に柴田良一氏の「秋田縣の自然地理」が公にされて地形説明の良師を得た縣下の人達は今復た大橋氏の本著を獲て地形の根元をなす地質鑛物の解説を知ることが出来たのはいかばかり幸であるか知れない。かうした地方的色彩に富み、且つ専門學者の自説を織り交ぜられた地方誌即ち一種のトポグラフィの出版されることは地學の民衆化促進に一氣勢を添へるものである。(N)

○鑛物岩石鑑定要覽

大橋良一著 四六版一〇二頁 昭和三年二月東京太陽堂發行 定價一圓五十錢

大正十五年の初版を訂正増補したものである。新版には巻頭に造岩鑛物及岩石の顯微鏡下の繪を灰色の一種刷にした圖

版五葉を入れ表の中では劈開角度表、結晶族一覧、岩石名稱一覧を新增した。鑛物鑑定表の内容は在來のまゝで比重を根本としたものであるがもとのより見易く組みかへられた。他の表の多くはもとの紙型を用ひてある爲め誤植が其まゝ殘されてあるのは見ぐるしい。一步一步良き版が出て、鑛物界探究者の良き指針となることは獨り著者の幸とする所のみではない(N)

○中華民國地誌

西田與四郎著 四六版二八三頁 寫眞版七葉 昭和三年二月 東京古今書院發行 定價二圓

中華民國の國情を知ることには日支親善の第一歩であるといふ著者の信念から民國の自然地理人文地理を併せ説くと共に民國と諸外國及日本との關係を述べたものである。之を通讀するに簡明に地形氣候人口都市産業交通政治に亘つて要を盡して居る。記述の仕方は教科書風であるが、間々大正十三年の著者支那研究旅行中の見聞、感想を附記したところに大きなゆとりを見出す。殊に都市の章は最も力を致された所であつて民國大都市の狀況手取る様に全形内容を記述してある。尤も地理的には香港も支那ではあるがこゝは著者が曾遊されなかつた爲めであるか説明がないと同時に青島の水洗式便所に驚駭されたり、上海の人力車や地上電車やの往復のはげしいのは歐羅巴の都市に似てゐるとあてられてたりする邊などは都市研究者のかなり小膽なのを示してゐて面白い。兎もかく手頃な著述でかくまで中華民國の大勢を示した著述

は我國初めてのもので旅行記なよむ程氣輕にはゆかないが、本書の内容が判つてゐて其後に、例へば藤田氏の「西湖より包頭まで」を讀んだならば如何に支那の地理通になれるか知れないと思はれる。また常に新聞紙に出て来る民國國內の推移を眞に理解せんとするにはこの書を復讀して一般の國勢を知つて置くことが必要だと考へられる。猶ほ本書には附録として支那の都市の一箇が添へられて居る。(Z)

雜 報

○故ナウマン博士の本邦關係著述目錄

ヘルマン

ド・ナウマン博士(Edmund Naumann 1854—1927)は明治八年八月十七日來朝し、同十八年歸獨せるまで、初めは東京大學の教授として地質學を講じ、次で地質調査所の地質調査長として本邦地質調査の基礎を置いた人であるが、昨年フランクフルト・アム・マインで七十四の高齡を以て物故された。左に同氏の日本に關する著述を擧げる。(文庫生)

1. Die Vulkaninsel Ooshima und ihre jüngste Eruption
Zeitsch. Deutsch. Geol. Gesellsch. XXIX, (Heft 2) pp. 364—391. 1877.

1b. 大島火山記(和田維四郎譯) 學藝志林(第一卷) 第一冊

一—四〇頁 明治十年

2. Japanische Kjekkenmoedinger. *Mitt. Deutsch. Gesellsch. Nat.-u. Voelkerk. Ostasiens, Yokohama.*

II, pp. 152. 1878.

3. Ueber Erdbeben und Vulkanausbrueche in Japan.
do., II (Heft 15), pp. 163—216. 1873.

4. Ueber die Ebene von Yedo. Ein geographisch-geologisches Studie. *Peterm. geogr. Mitt. XXV, pp. 121—135. 1878.*

5. Ueber das Vorkommen der Kreideformation auf der Insel Yezo. *Mitt. Deutsch. Gesellsch. Nat.-u. Voelkerk. Ostasiens. III (Heft 21), pp. 28—33. 1880.*

6. Ueber die wirthschaftlichen Verhaeltnisse Japans und die geologische Aufnahme des Landes. *Verhandl. Gesellsch. Erdb. Berl. VII. pp. 33—44. 1880.*

7. 内地地質調査施行之主意 勸業局地質課 明治十三年

8. 日本地形及地質實査(和田維四郎譯解)東京地學協會報告 第二卷(6)明治十三年(6)頁數入

9. Die Triasformation im noerdlichen Japan. *Mitt. Deutsch. Gesellsch. Nat.-u. Voelkerk. Ostasiens. III (Heft 25), pp. 205—209. 1881.*

9b. Ueber das Vorkommen von Triasbildungen im noerdlichen Japan. *Jahrbuch f. k. geol. Reichsanst. Wien. XXXI, pp. 519—528. 1881.*

10. Ueber japanische Elephanten der Vorzeit. *Palaen-*